

⑪公開実用新案公報 (U)

昭54—152813

⑫Int. Cl.²

識別記号

⑬日本分類

庁内整理番号

⑭公開 昭和54年(1979)10月24日

F 02 D 11/02

51 E 63

6355—3G

A 01 D 75/18

1 C 134

7519—2B

F 02 D 9/02

6355—3G

審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑮スロットルレバー装置

⑯考 案 者 山口洋一

明石市川崎町 I 番 1 号 川崎重
工業株式会社明石工場内

⑰実 願 昭53—49829

⑱出 願 昭53(1978)4月14日

⑲出 願 人 川崎重工業株式会社

⑳考 案 者 多鹿和也

神戸市生田区東川崎町 2 丁目 14
番地明石市川崎町 1 番 1 号 川崎重
工業株式会社明石工場内

㉑代 理 人 弁理士 西教圭一郎

㉒実用新案登録請求の範囲

作業機操作用のハンドルに固定したレバーホルダにピンを介してレバーを枢着し、スロットルケーブルのアウタケーブル先端を前記レバーホルダに固定し、インナワイヤを前記レバーのボス部に連結し、前記レバーをハンドルグリップ側に操作したとき前記インナワイヤがリターンスプリングの弾発力に抗してエンジン増速側に引かれるようにしたスロットルレバー装置において、ねじ棒を前記ハンドルグリップ側に突出させて前記レバーの端部に螺着し、その突出量を調節自在にしたことを特徴とするスロットルレバー装置。

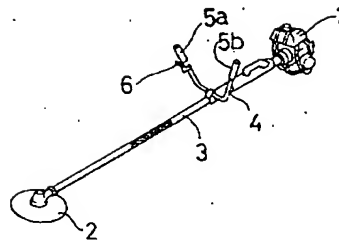
図面の簡単な説明

第 1 図は本考案が実施される刈払機の斜視図、第 2 図は第 1 図示のスロットルレバー装置 6 およ

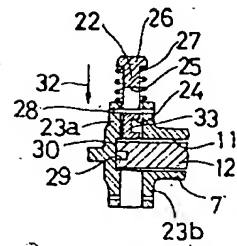
びハンドル 4 の一部の拡大平面図、第 3 図は第 2 図の切断面線 III—III に沿う断面図、第 4 図はブッシュボタン 22 の作動状況を示す第 3 図に対応した断面図、第 5 図は第 1 図示のレバー 10 の遊端部 34 付近の拡大縦断面図、第 6 図および第 7 図は第 5 図の切断面線 V—V、VII—VII に沿う断面図、第 8 図は本考案の他の実施例の平面図、第 9 図は本考案のさらに他の実施例の平面図である。

1…エンジン、4…ハンドル、5a、5b…ハンドルグリップ、7…レバーホルダ、10、50、61…レバー、12、60…ボス部、17…スロットルケーブル、18…アウタケーブル、20…インナワイヤ、38、62…ナット、41、53、63…ねじ棒、52…内ねじ。

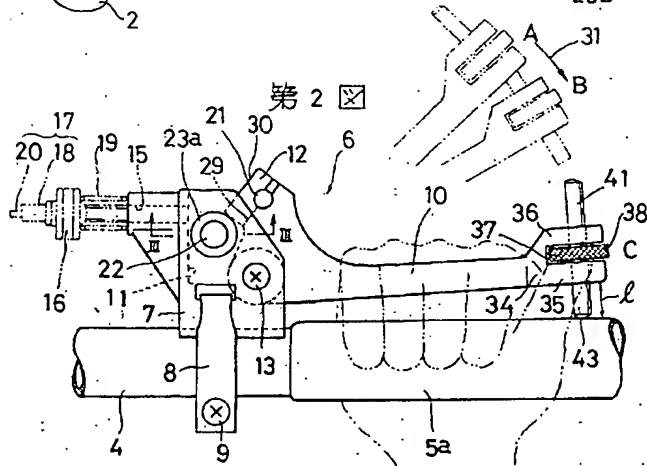
第 1 図



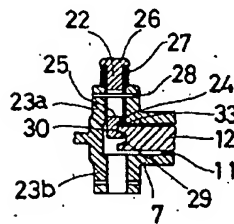
第 3 図



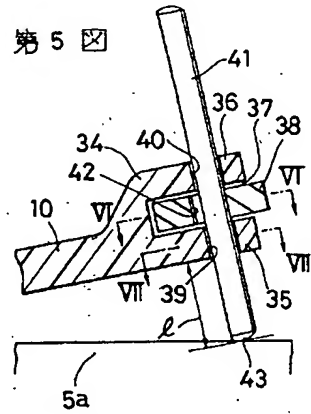
第 2 図



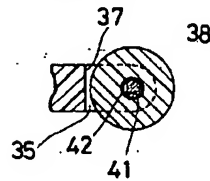
第 4 図



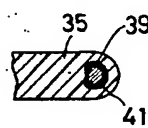
第 5 図



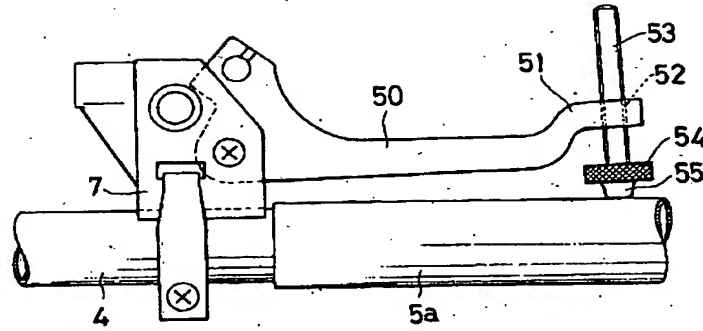
第 6 図



第 7 図



第 8 図



第 9 図

